

# 守山市新庁舎『つなぐ、守の舎』整備基本設計業務 公募型プロポーザルにかかる審査講評

## 1 各提案に対する評価の概要

守山市新庁舎整備に係るプロポーザル審査委員会では、最初に、募集要項別添資料 23「評価基準および評価配点【一次審査】」に沿って第一次審査を行った。各応募案に関する詳細な議論を経た後、各委員による評価点を総合し、協議の結果、全会一致により 7 者を第一次審査通過者とした。次に、同審査を通過した 7 者から提出された技術提案書の内容および公開プレゼンテーションの内容、プレゼンテーション後のヒアリングをもとに、募集要項別添資料 23「評価基準および評価配点【二次審査】」に沿って第二次審査を行い、慎重かつ熟慮を重ねた審議の上、第一次審査における各委員による評価点を含めて総合点を集計した。その結果、評価点の最も高い優秀者として隈・安井設計共同企業体（代表構成員：株式会社隈研吾建築都市設計事務所、構成員：株式会社安井建築設計事務所）を選定した。

各提案に対する本審査委員会における各委員の評価や意見を抽出・整理し、その概要を以下に記す。

### (1) 優秀者（契約予定者）の評価概要

#### ◆受付番号 3：隈・安井設計共同企業体（代表構成員：株式会社隈研吾建築都市設計事務所、構成員：株式会社安井建築設計事務所）

庁舎敷地の立地を活かして、守山市の特徴である“街道”を延長するという考え方でまちと庁舎とのつながりを的確に捉えており、敷地内や庁舎内部とも連動した明快でコンパクトな動線計画やゾーニングが際立っている。特に、商店街や市役所前通りなど庁舎周辺の人の流れを踏まえて敷地西側の市役所前通り沿いに「街道広場」を配置し、L字型の庁舎棟に沿った「森の街道」と庁舎内の「なかの街道」が軒や庇、屋根等でつながりながら連動した動線計画が優れている。

配置計画のみならず庁舎内部についても、利用者にとってわかりやすく動きやすいL字型の動線によってシンプルに構成されており、市民にとって重要なわかりやすさや、庁舎計画で重要な窓口のワンストップサービスの提供のしやすさに十分に配慮された計画になっている点で高く評価できる。また、街道を活かした庁舎の考え方に加えて、環境に配慮して「びわ湖材」等の滋賀県産の建材を内装や軒裏等に積極的に活用しており、琵琶湖に接する守山市の立地特性を活かしている点も評価できる。さらに、「森の街道」や立体的に配置された「なかの街道」を中心に、にぎわいを生み出す空間的な仕掛けが随所に散りばめられており、基本計画の基本方針に掲げた「楽しい“コト”がある庁舎」

の実現を図っている点で評価できる。

このようにコンセプトがきわめて明快でわかりやすく、今後、短期間で基本設計を進めていくうえで、取組みやすい提案であることも評価できる。

一方、コストマネジメントについても、執務室のユニバーサルレイアウト化や共用部等の効率化により延床面積を5～7%程度削減する方向で提案しているほか、補助金活用の可能性にも言及しており、歳出および歳入の両面からのコスト削減について具体的かつ総合的にバランスよく提案されている点でも高く評価できる。

以上の諸点を踏まえると、本提案は守山市の状況をよく理解した上で動線計画やゾーニングを含め主要な課題が明快に解決されており、守山市にふさわしい最適な提案と評価され、最高の評価点を獲得した。

ただし、街道広場に配置された大きな庇を想定している事業費の枠内でどこまで魅力的なものとして実現できるか、また、1階についてはさまざまな検討がされているが、2階以上についてはこれから更に豊かな空間づくりに向けた検討が必要と思われる等の課題が残されている。

## (2) 次点者の評価概要

### ◆受付番号4：東畑・遠藤克彦設計共同企業体（代表構成員：株式会社東畑建築事務所 所大阪事務所、構成員：株式会社遠藤克彦建築研究所一級建築士事務所）

L字型の大空間に多数の「コモンヴォイド」を設け、その吹き抜けを介して2階まで一体的につながり、また、多目的に活用できる「もりホール」も上階まで抜けており、庁舎内に入っても敷地内の森が続いているように感じられる立体的な都市のような動線計画や空間構成が特徴である。

2階には会議室やキッズスペース等のたまりの空間を配置し、市民が使いやすいように工夫しているほか、2階の会議室兼ロビー的空間と1階の「情報ホール」や「展示/WSホール」等の屋内オープンスペースをコモンヴォイドが巧みにつないでいる。このように、1・2階の要所に魅力的な空間を散りばめながら1階と2階を立体的に柔らかくつなげているゾーニングと豊かな空間づくりは、高く評価できる。

また、庁舎周辺の人の流れを踏まえて敷地西側にホールを配置し、周辺の住環境や雰囲気など守山市の特性をよく理解した計画がなされている点や、自治会活動や市民生活などの守山市の状況を精緻に分析した上で、その特性に沿って幅広い市民の声を取り入れながら業務を進める方針も望ましく、市民にとって馴染みやすい提案である点でも高く評価できる。

ただし、上記のように評価できる点がある一方で、以下の諸点で課題が認められる。

- ・アクティビティの中心となる内部空間を「ジグザク」（雁行）とした特徴的な空間

だが、基本計画通り既存インフラに配慮した底辺の短いL字型の庁舎棟としていることにより、内部の窓口カウンターはコの字型の配置となっており、新庁舎のワンストップ化の観点から課題があり、シンプルさに欠ける懸念がある。

- ・コモンヴォイドは、上述した評価できるメリットがある一方で、建築コストが高くなる懸念があるほか、L字型の奥行きが深い窓口の執務空間の明るさの確保や一体的な空間の実現に多少課題が残されている。

以上のような意見交換がなされ、優秀者の提案には僅かに及ばない総合評価点となった。

### (3) その他提案の評価概要（受付番号順）

#### ◆受付番号1：株式会社新居千秋都市建築設計

綿密なシミュレーションを実施しながら各種課題を検証し、要項に沿った機能的な庁舎を緻密で堅実な手法で具体的に提案している。加えて、環境共生を目指し、屋上や壁面を全面的に緑化する個性的な提案でもある。

シミュレーションは、実績に基づく高い技術・知見に基づき、環境性能やコスト、工期など多角的にかつ踏み込んで実施されており、提案プロセスやコストコントロールの確実性については評価できる。

一方で、以下の諸点で課題がある。

- ・屋上や壁面の緑を適切かつ容易に管理できるか不安が残る。
- ・基本計画の基本方針に掲げた「楽しい“コト”」が起こりにくい面があるのではないかと懸念される。
- ・守山らしさを彷彿させる点が積極的に表現されているかどうか疑問が残る。

上記のような点が指摘され、最終的に優秀者および次点者の提案に及ばない総合評価点となった。

#### ◆受付番号2：RIA・SPEAC 共同企業体（代表構成員：株式会社アール・アイ・エー 大阪支社、構成員：株式会社スピーク）

基本計画の基本方針に掲げた「楽しい“コト”がある庁舎」をより一層重視し、それを実現するために、ハード面だけでなく、ソフト面のプロセスについても、体制づくりも含め充実していることが特徴的な提案である。

ソフト面の「楽しい“コト”」を起こしてそれ自身が庁舎の顔となるような工夫や、「守の広場」などのハード面でも守山らしさを表現している点は、評価できる。また、「楽しい“コト”」のプロセスをきちんと実施しようとする姿勢は、他の応募者にはない訴求力があり、評価できる。

一方で、窓口や執務空間、議会スペース等の動線計画やゾーニング、庁舎内の豊かな空間づくり等については、積極的に評価できる特徴がやや少ないと判断される。

上記のような点が指摘され、最終的に優秀者および次点者の提案に及ばない総合評価となった。

#### ◆受付番号5：株式会社シーラクスアンドアソシエイツ

1階から4階まで斜め方向に連続する大きな吹き抜けや、そのまわりの市民に開放された交流空間、ガラス張りのオープンな議場等が特徴的な提案である。

2階には議場に面したカフェ、また4階には展望テラスに面した食堂を配置するなど、1階から4階の各階に市民に開かれた交流空間を配置している点や、わかりやすい動線計画等は評価できる。

一方で以下の諸点で課題がある。

- ・市役所前通りに対する動線計画が閉鎖的ではないかと懸念される。
- ・1階から4階までの大きな吹き抜けや、1階の細長いホール、2階の中庭、4階の大きな展望テラス等は、連続感があるものの明快さに欠けるきらいがある。
- ・市民に開かれた交流空間は、土日の使い方等も含めて、セキュリティ等の運営面で多少問題がある。

上記のような点が指摘され、最終的に優秀者および次点者の提案に及ばない総合評価となった。

#### ◆受付番号6：株式会社佐藤総合計画関西オフィス

上階に向かってセットバックしていく階段状の庁舎棟をL字型に配置し、階段状の壁面を活かして、「グリーンインフラ」（緑ルーバー）を、大胆かつ全面的に設置していることが特徴的な提案である。

「緑ルーバー」の下に配置された窓口や「コミュニケーションスペース」は明るい空間となっていることや、執務空間と議会エリア、市民開放エリアの明快なゾーニング等は評価できるが、一方で以下の諸点で課題がある。

- ・屋上や壁面を全面的に緑化している提案は、守山市のような自然に恵まれた環境に対して好適であるかどうか多少疑問が残る。
- ・グリーンインフラを「杜」と捉えて前面に打ち出しており、基本計画に示した『つなぐ、守の舎』の『守』を「『杜』でつなぐ」と読み替えている点には、幾分の違和感が残る。
- ・緑ルーバーは、夏は涼しいものの、冬のさびしい風景も想像され、また維持管理も十分にできるか懸念される。

上記のような点が指摘され、最終的に優秀者および次点者の提案に及ばない総合評価

点となった。

#### ◆受付番号7：有限会社SANA A事務所

敷地全体を大きな庭や家のように見立て、高さを抑えた3層のシンプルなL字型の庁舎棟、ホールと広場、大きなボルト屋根が設けられた駐車場と広場で構成しており、駐車場を含めて1つの庭のような領域をつくることは革新的な提案と評価できる。また、庁舎棟の外に分棟としたホールを配置し、庁舎棟を周辺の街並みに配慮して3層に抑えるとともに、来庁者にとってわかりやすいL字型の窓口カウンターを配置した明快でシンプルな動線計画とゾーニングは、高く評価できる。また、吹き抜けの「えんがわロビー」はガラス越しに庭が見えるなど気持ちのよい空間になっているほか、ホールと広場が敷地の中心にあり、広場とホールで展開されるアクティビティをまわりにある回廊から眺められる点も評価できる。

加えて、大屋根の駐車場は、雨に濡れずに庁舎棟へ行けるとともに、災害時やイベントでも有効に活用でき、大屋根によって、どこの庁舎にも普通にある駐車場というものを全く異なる空間に変貌させており、画期的で今後の庁舎建築のプロトタイプとなり得る意欲的な提案である。

上記のように基本理念が活かされており非常に高く評価できる点がある一方で、以下の諸点で課題がある。

- ・駐車場と広場に架けられる大きな屋根は、コスト面において、確実に実現できるのか不安が大きい。
- ・ボルト屋根の形状・デザインの面では、他事例と類似している点も見受けられ、守山市独自のデザインとして評価しきれない点がある。
- ・日常的に利用する市役所として、若い世代の市民には支持されるかもしれないが、高齢者やずっと守山市に住んでおられる方々を中心に、多くの守山市民によきもの、親しみのあるものとして受け入れられるかということに不安を感じる。
- ・守山市や市民が革新的な庁舎を使いこなせるかという運用面も懸念される。

以上のように、審査員の中では賛否両論があったが、最終的に優秀者および次点者の総合評価点に僅かに及ばない結果となった。

## 2 審査委員会の評価

全国から本事業の趣旨に共鳴する7者から非常に優れた計画案が寄せられました。まずは提案者の皆様に深く敬意を表するとともに、こころより感謝いたします。

各提案者からの計画案は、それぞれに、本市における庁舎のあり方、特に市民に開かれた庁舎やワンストップ化に適した庁舎のあり方、環境に配慮した庁舎のあり方、駐

車場等のオープンスペースのあり方等を鋭く問いかけており、新たな庁舎を整備するにあたり、貴重な示唆を得ることができました。

優秀者の提案内容については、例えば、街道広場に配置された大きな庇を、想定している事業費の枠内でどこまで魅力的なものとして実現できるかなど、今後さらなる検討が必要な点も指摘されていますが、優秀者として、今後、市民や職員をはじめとする関係者、専門家との十分な協議を行うとともに、建築コストの上昇が懸念されるなか、コストマネジメントの観点からも、再度課題を整理し直し、よりよい計画案に練り上げられるものと確信しています。

令和元年 9 月 20 日

守山市新庁舎整備に係るプロポーザル審査委員会

委員長 及 川 清 昭

